

## 輸送 依然として中国が高速鉄道のトップ

原題：China still out in front  
誌名：RGI：Railway Gazette International Vol.171 No.7 (2015-7) pp.44-48

世界の高速鉄道の路線長は急速に成長していますが、最速列車の速度は停滞状態で、最高速度300km/h、平均速度250km/hが標準です。平均速度250km/h以上の国は、中国、フランス、日本、スペイン、台湾であり、中国が平均速度283.4km/hでトップとなっています。

出典：Railway Gazette International

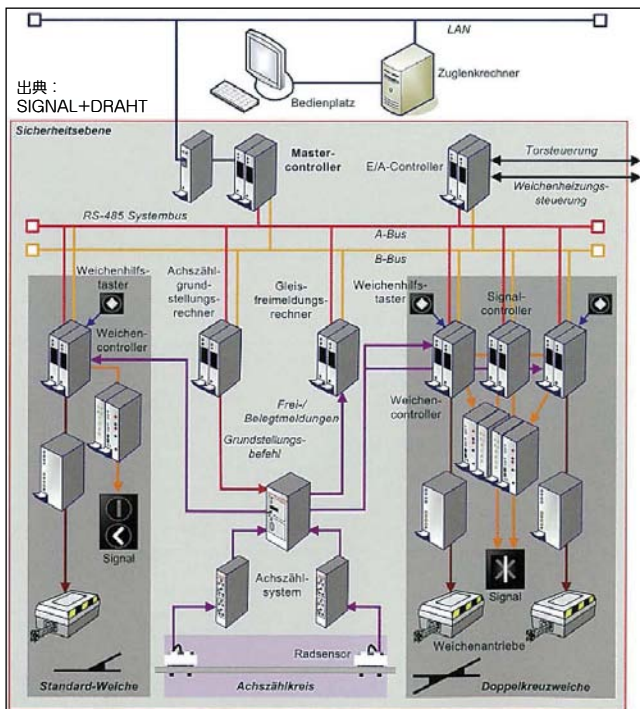


中国の高速鉄道網は2万kmを超えようとしている

## 信号通信 モジュール式の指令・制御技術

原題：Modulare Leit-und Sicherungstechnik für schweizerische Privatbahnen  
誌名：SD：SIGNAL+DRAHT Vol.107 No.7+8 (2015-7+8) pp.13-17

スイスには、鉄道の運用に対する特徴的な伝統があります。規模は小さいが通勤線から広域ネットワーク、山岳地域におけるラック・アンド・ピニオン式鉄道に至るまで、多様な民営事業者が集まっています。鉄道機材メーカーの視点からは、顧客の個々のニーズを満足させるだけでなく、十分に証明された固有の技術を集積するためにも、高度の柔軟性とモジュール性が要求されます。



分岐シグナルボックスのシステムアーキテクチャ

## 構造物 進む立体交差化

原題：Die Eisenbahnüberführung Calau wurde zum Schweben gebracht  
誌名：EI：Eisenbahningenieur Vol.66 No.8 (2015-8) pp.26-29

鉄道の立体交差部を更新するために、同一箇所類似の新しい構造物を設置し、鉄道運行を一時的に止めて工事を行いました。さらにDB Netz社からの鉄道運行規制などに基づく要求に対応した緻密な工事計画と洗練された建設技術により、運行中断を3週間以内に短縮することに成功しました。

出典：Eisenbahningenieur



立体交差構造物の持ち上げ

## 軌道 柔らかいパッドの付いた重量まくらぎ

原題：Innovationspotenzial von Fahrwegkomponenten：Schwere Schwellen auf weichen Schwellensohlen  
誌名：ETR：Eisenbahntechnische Rundschau Vol.64 No.7+8 (2015-7+8) pp.41-46

軌道の衝撃緩和手段は、数値シミュレーション、室内実験、現地試験によって研究されてきました。柔らかいパッドの付いた重量まくらぎ、または幅広まくらぎによって、望んでいた性能が達成されます。室内試験の結果は、列車の静荷重に対する剛性と緩和の効果を推し測り、まくらぎパッドの選択に役立ちます。また、現地試験は、予期した動的減衰性を証明し、たとえば軌道沈下と線形不良の減少を明らかにします。



出典：Eisenbahntechnische Rundschau

幅広まくらぎの連続荷重試験



WRT (海外鉄道技術情報) は海外主要鉄道誌の記事抄訳を含め、海外の最新の鉄道技術情報をタイムリーに紹介する季刊誌です。ここに紹介した記事はその一部です。  
⇒新刊案内、バックナンバーは総研HP (www.rtri.or.jp) をご覧ください。  
⇒問合せ (研友社) TEL: 042-572-7157 HP: www.kenf.jp